

第2回意見交換会 ニ ュ ー ス レ タ ー

令和元年8月31日に、駒場野公園自然観察舎内にて第2回意見交換会を開催いたしました。総勢20名の公園に関わる皆さまにお越しいただき、貴重なご意見を頂戴することができましたこと、御礼申し上げます。



意見交換会開催の経緯

武蔵野の面影を残す雑木林や池、昔から残されてきた水田など多様な自然環境を有する駒場野公園は、区内にある公園の中でももっともいきものの種類が多い場所です。また公園内では自然を楽しみ守るボランティア団体が活躍する場所としても重要な役割を果たしています。さらには、周辺地域の大規模緑地とつながるエコロジカルネットワーク（いきものの移動経路）を形成する上で区内のいきものの導入の場となる拠点に位置します。

このように区内でいきものの生息拠点となっている場所を保全するため、2018年3月に駒場野公園を「生物多様性保全林」に指定しました。

普段公園で活動されている皆さまと公園の現状と公園の将来像を共有し、将来像実現に向けた具体的な取り組みを確認するために意見交換会を開催しました。



公園の将来像を説明中

公園の現状と課題

駒場野公園が開園して32年が経過し、様々な環境の変化が見られるようになりました。下表は代表的な環境変化を、区が実施した様々な調査結果をもとにまとめたものです。

変化項目	現 状	課 題
自然環境 の変化	・樹林地における木の成長	・高木により日陰が増え、後継樹が育ちにくい（特に落葉広葉樹） ・樹林の密度が高くなり、既存の樹木同士が互いの生育阻害要因となる
	・水辺地の大池の水底に堆積物が増えたことによる陸地化	・水辺を好むいきものの生育環境の低下 ・陸地化の進行による水辺環境の減少
公園利用の 増加	・駅からの通路と拡張部への通路の完成による通勤・通学利用の増加	・踏圧により公園全体の土が固くなり樹木の根が露出 ・利用者の特に多い場所では、樹木の生育環境の確保が困難
	・イベントやお祭り等によるエリア活用	・活動範囲が広がり、草地等のいきものの生息環境の減少 ・各団体の活動場所と自然を保全する場所のエリア分けや活動調整が必要

上空から見た駒場野公園の変化



2014年



課題解決に向けた具体案

様々な課題の解決に向け、園内の生物多様性保全への配慮と来園者にとって安全・安心・快適な利用、その両立を図るためにゾーニング（エリア分け）の提案をしました。また課題解決に必要な具体的な取り組みを検討しました。



駒場野公園ゾーニング案（2018年）と公園未来マップ（2012）のゾーニング区分

公園未来マップ（2012）のゾーニング区分

・ふれあいのゾーン（人が利用するエリア）

→桜等植栽地

・めぐみのゾーン（人と自然が共生するエリア）

→クヌギ林、アカマツ林、果樹園、
落葉広葉樹主体の樹林、草地

・いきもののゾーン（生物の生息を重視するエリア）

→樹林地

樹林地の保全に係る取り組み	水辺地の保全に係る取り組み
林縁部保護のための そだ柵 づくり	水量確保等のための池底の 汚泥 除去
林床の照度確保のための 伐採 剪定	水辺生態系の回復のための かいぼり
実生木育成のための 下草 刈り	水生生物の生息場所となる エコトーン の作成
クヌギ 苗の植え替え・植樹	水面の照度確保のための 伐採 剪定
	水生植物 の保護対策



挙がったご意見（一部）

挙がった意見

樹林地の地図を見ながらワークショップ形式でご意見を挙げていただき、当日挙げていただいたご意見や共有した内容を整理しました。

めぐみのゾーン

- ・高木になったエノキ1本を伐採して林床の植生がどう変化するか観察したい。
- ・果樹園のウメとアンズは今年剪定予定。
- ・タチツボスミレ多い。引き続き大切にしていく。
- ・植栽したもので、在来種はこれからも見守っていく。
- ・公園と住宅の境目の樹木について目隠しは必要なので高い部分だけ剪定して人の目線に届く低い部分は残してはどうか。
- ・ドングリ苗を植栽する地点を検討したい。
- ・キャンプ場で使用された炭は脂がついているので再利用できない。燃えるゴミ扱いで袋に入れておけば処分できる。

ふれあいのゾーン

- ・踏圧によると思われるが、ウメ、サクラの根周り状況が悪い。
- ・バーベキューエリアの階段ちきも裸地化している。
- ・お祭りの時のテント設置と植栽帯の保護のバランス調整が必要。ゾーンで分けるだけでなく、生育の時期とお祭りで使う時期とで使い分ける。

いきもののゾーン

- ・めぐみのゾーンに影を落としている高木は伐採・剪定等を順次進めていく。

今後の予定

・今年11月4～6日に大池の一部で試験的な**かいぼり**を実施します。今年度は公園ボランティア団体の皆様にご協力いただき、来年度は大池全域で地域住民の皆さんも一緒にかいぼりを行います。ご興味のある方は事前説明会にご参加いただく必要があります。事前説明会は10月26日（土）13:00～開催予定です。詳細は各団体の代表の方あてに同封した資料でご案内・お申し込みいただけます。

・来年度かいぼり後の冬に第3回意見交換会を実施します。開催案内をお送りしますのでぜひご参加ください。

担当：目黒区都市整備部みどり土木政策課みどりの係
Tel：03-5722-9359 Fax：03-3792-2112